

位相空間論第二（講義）(MTH.B202)

順序集合

山田光太郎

`kotaro@math.titech.ac.jp`

<http://www.official.kotaroy.com/class/2024/top-2>

東京工業大学理学院数学系

2024/06/11

最大元・最小元

(X, \leq) : 順序集合 ; $S \subset X, S \neq \emptyset$

事実

S は " \leq の S への制限により順序集合となる.

定義 (定義 10.14)

$s \in S$ が s の 最小元 \Leftrightarrow 任意の $t \in S$ に対して $s \leq t$.

$s \in S$ が s の 最大元 \Leftrightarrow 任意の $t \in S$ に対して $t \leq s$.

$s = \min S \Leftrightarrow s$ は S の最小元

$s = \max S \Leftrightarrow s$ は S の最大元

最大元 · 最小元

例：

▶ $X = \mathbb{R} ; S_1 := \{x \in \mathbb{R} ; x^2 < 2\}$

▶ $X = \mathbb{R} ; S_2 := \{x \in \mathbb{R} ; x^2 \leq 2\}$

▶ $X = \mathbb{R} ; S_3 := \{x \in \mathbb{Q} ; x^2 \leq 2\}$

整列集合

(X, \leq) : 順序集合

定義 (定義 10.17)

(X, \leq) が 整列集合

$\Leftrightarrow X$ の任意の空でない部分集合は最小元をもつ.

例 : \mathbb{N} 例 : $\mathbb{R}, \mathbb{Z}, \mathbb{Q}$

命題 (命題 10.18)

整列集合 \Rightarrow 全順序集合

整列可能定理 (定理 10.21)

極大元・極小元

(X, \leq) : 順序集合

定義 (定義 10.24)

- ▶ $a \in X$ が X の 極大元
 $\Leftrightarrow a < x$ をみたす $x \in X$ が存在しない.
- ▶ $b \in X$ が X の 極小元
 $\Leftrightarrow x < b$ をみたす $x \in X$ が存在しない.

上界・下界・上限・下限

(X, \leq) : 順序集合 ; $A \subset X$

定義 (定義 10.27)

- ▶ $\xi \in X$ が A の 上界 \Leftrightarrow 任意の $a \in A$ に対して $a \leq \xi$
- ▶ $\xi \in X$ が A の 下界 \Leftrightarrow 任意の $a \in A$ に対して $\xi \leq a$

定義 (定義 10.29)

- ▶ $\sup A := \min\{A \text{ の上界}\} : A \text{ の } \underline{\text{上限}}$
- ▶ $\inf A := \max\{A \text{ の下界}\} : A \text{ の } \underline{\text{下限}}$

ツォルンの補題 (次回予告)

定義

(X, \leq) が帰納的 \Leftrightarrow 任意の空でない全順序部分集合が上に有界

定理 (ツォルンの補題; 定理 11.1)

X : 帰納的順序集合; $x_0 \in X$

$\Rightarrow X$ の極大元 m で $x_0 \leq m$ となるものが存在する